

としょかん だより

2025. 6 NO.242

穴粟市立図書館

〒671-2576

穴粟市山崎町鹿沢81

TEL 62-4620

FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



今月のテーマ展示

雄弁な動物たち



動物が活躍する小説



『優しい死神の飼い方』

知念実希人 著(光文社)

ホスピス「丘の上病院」に犬の姿になって派遣された死神のレオ。

死に直面する人間を未練から解放するため奮闘しますが、そのためには過去にこの地で

起きた迷宮入り事件を解決しなければなりません。動物の姿を借りた死神が、迷える人間たちを癒し、導くハートフル・ミステリーです。

『猫と罰』 宇津木健太郎 著(新潮社)

かつて漱石と暮らした黒猫は、生まれ変わるたび、人間に命を奪われました。心を閉ざす黒猫ですが、不思議な古書店「北斗堂」へ流れ着き、再び人間と交わることになります。



『ゴリラ裁判の日』

須藤古都離 著(講談社)

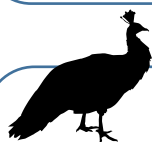
ローズはとても賢く、言葉を理解し人間と「会話」ができるゴリラでした。

ある日、人間の子どもを助けるためという理由で、夫ゴリラが射殺されました。ローズは、人間と戦うために

裁判を起こします。実際に動物園で起きたゴリラ射殺事件を題材にして、動物と人間の違いや正義について問いかけた小説です。

『有頂天家族』 森見登美彦 著(幻冬舎)

京都の狸四兄弟が一族の誇りを賭け、天狗と人間相手に化かし合うユーモアあふれるファンタジーです。



動物ノンフィクション



『鳥頭なんて誰が言った？』

エマニュエル・プイドバ 著 松永りえ 訳(早川書房)

「鳥はすぐにものを忘れるという俗説は、まちがっている。」鳥類だけでなく、さまざまな生物が持つ「知恵」が学べます。

『クジラの歌を聴け』 田島木綿子 著(山と溪谷社)

求愛の悲喜こもごもから環境に適応した子育ての方法まで、哺乳類の命をつないでいくための戦略が紹介されています。

『動物たちの内なる生活』

ペーター・ヴォールレーベン 著

本田雅也 訳(早川書房)

子ネコに深い愛情をそそぐカラス、名前が呼ばれるまで待つ礼儀正しいブタ…。長年、森林の管理をしながら、動物と交流してきた著者が、驚きのエピソードを通じて動物の感情と知性を描きます。



『私はヤギになりたい』

内澤旬子 著(山と溪谷社)

個性的でマイペースなヤギたちとの幸福な日々を綴るイラスト入りエッセイです。

ほかにもたくさんの本を展示しています。
貸出できますので、ぜひ手にとってご覧ください。



こんな本あります 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木 俊貴 著（小学館 2025年刊）

人間以外の動物には言葉がない。紀元前からのこの固定概念をくつがえし、新しい学問「動物言語学」を打ち立てたのが著者の鈴木さんです。

鈴木さんは大学時代に野鳥の調査をしていた際、シジュウカラなどのカラ類がいくつかの鳴き声を使い分けていることに気がつきました。食べ物に枯渇する冬、シジュウカラは食べ物を見つけると「チヂヂチ」と鳴いて仲間を呼び集めます。独り占めするよりも、集団になることでいち早く天敵に気づくことを優先しているからです。鈴木さんは研究の対象をシジュウカラの鳴き声に決め、詳しい調査のために巣箱を設置し、カメラでその中まで観察できるように工夫しました。

危険を知らせる「ピーツピ」と「ジャージャー」には明確な違いがありました。カラスやイタチがいるときには前者の鳴き方で、ヘビがいるときには後者の鳴き方で

仲間に警戒をうながします。巣の中にいるヒナもこれらの声を聞くと行動を起こします。「ピーツピ」のときには静かに巣の奥にうずくまります。一方、「ジャージャー」を聞いたヒナは驚くべき行動に出ました。巣立ちまでまだ数日かかるはずのヒナたちが次々に巣から飛び立ったのです。巣穴の狭い入口を通ることができないカラスやイタチに対しては巣の奥でジッとしている方が安全です。ところが、ヘビは巣の中に入ってくるため、巣から逃げ出すことでしかヒナたちは身を守れないのです。鈴木さんはこのことを足掛かりにシジュウカラが意味のある「言葉」を発していることを証明しました。この研究は世界的に評価され、ついには動物言語学という新たな分野が認められたのです。

世界的な鳥類学者となった鈴木さんですが、初めての長期間のフィールドワークでは食料の配分を間違え、悲惨な食生活に苦しむなど親しみがわくエピソードも満載です。ひとつの事柄を証明するための道すがらが丁寧に記され、科学のおもしろさが味わえます。

子どもの本 73

「ちいさなヒッポ」

マーシャル・ブラウン さく
うちだりさこ やく（偕成社）



かばのヒッポが言葉をおぼえるときがきました。お母さんが「グアオ、たすけて！」とほえてみせると、ヒッポが繰り返します。「グアオ、たすけて！」ヒッポは何度も何度も練習しました。ある日、おとなのかばたちが昼寝をしているとき、波ひとつ立てずに、わにが滑りよってきました。わににはヒッポのしっぽにかみつきました。深い水の底へぐいぐい引っ張りあげました。「グッ、グッ、グアオ！ たすけて！」ヒッポのさけび声をききつけ、お母さんは起き上がると、大きな口にわにをくわえ、放り投げました！木目をいかした版画で水の中の様子が巧みに表現されています。わにを追いかけてお母さんかばは必死です。読み進めると、三歳くらいから楽しめます。

「ドリトル先生航海記」

ヒュー・ロフティング 作
井伏 鱒二 訳（岩波書店）



ドリトル先生は動物語が話せる博物学者です。先生は、犬のジップやアヒルのダブダブたちと暮らしています。ある時、先生はクモサル島へ旅に出ることにしました。そこは、偉大な博物学者ロング・アローが姿を消した謎の島でした。船を借り、乗組員となる仲間を見つけ、やっとのことで船出することができました。ところが、次から次へと密航者が見つかり、食糧が足りなくなりました。次の港に寄ることにしました。が、食べ物を買うお金が残っていませんでした。……行動力があり、動物たちに優しいドリトル先生の物語は全部で十三冊あり、シリーズ二冊目の「航海記」は、助手のスタビンス少年の視点で先生の活躍が語られています。著者自身が描いた絵はどこかユーモラスで、物語をより深く味わう助けとなります。十歳くらいから楽しめます。

新 着 図 書 紹 介

◆このリストは直近 1 か月に入った本の一部です◆

書 名	著 者	出版社	ジャンル
PCトラブル自力解決マニュアル	日経 PC21 編	日経 BP	パソコン
京都の歩き方 歴史小説家 50 の視点	澤田 瞳子	新潮社	歴 史
国境アトラス 世界の壁・移民・紛争の全記録	デルフィヌ・パパン 他	日経ナショナルジオグラフィック	地政学
出獄記	山本 譲司	ポプラ社	更生保護
羽田圭介、家を買う。	羽田 圭介	集英社	住宅問題
定年後の仕事図鑑 月 10 万円稼いで豊かに暮らす	坂本 貴志	ダイヤモンド社	職 業
民具のミカタ博覧会 見つけて、みつめて、知恵の素	日高 真吾 他編	誠文堂新光社	民 具
数字でみる動物図鑑	リチャード・ミード 他	創元社	動 物
深海生物生態図鑑	藤原 義弘 他	あかね書房	深海生物
こちら、空港医療センター 救急ドクター奮闘記	シン ホチョル	原書房	医 療
Mobile Homes(モバイルホームズ) 愉快的旅車の作り方	—————	キャンプ	自動車
ちょっと具合のよくないときのごはん	倉嶋 里菜	日東書院本社	料 理
かもめ食堂野菜が美味しい季節のおそうざい	船橋 律子	誠文堂新光社	料 理
愛されジェラート ざくざく刻んで、ぐるぐる混ぜてなめらかクリーミー	本間 節子	文化学園文化出版局	菓 子
空から見た世界の食料生産 人口爆発、気候変動、そして「食」の未来	ジョージ・スタインメッツ 他	原書房	農 業
家庭菜園の自然農薬 つくり方、使い方、効能がよくわかる！	—————	ブティック社	家庭菜園
テレビプロデューサーひそひそ日記	北 慎二	三五館シンシャ	テレビ
関西 MUSEUM GUIDE(ミュージアムガイド)	朝日新聞出版	朝日新聞出版	美術館
やなせたかし アンパンマンを生んだ愛と勇気の物語	—————	平凡社	漫画家
芥川也寸志(やすし)とその時代 戦後日本映画産業と音楽家たち	藤原 征生	国書刊行会	映画音楽
韓国ドラマ沼にハマって見たら	角田 光代	筑摩書房	テレビドラマ
黒部源流山小屋料理人	やまと けいこ	山と溪谷社	山小屋
多動脳 ADHD の真実	アンデシュ・ハンセン	新潮社	新 書
父が牛飼いになった理由(わけ)	河崎 秋子	集英社	新 書
乱歩と千畝(ちうね) RAMPO と SEMPO	青柳 碧人	新潮社	日本小説
嘘と隣人	芦沢 央	文藝春秋	日本小説
風読みの彼女	宇山 佳佑	集英社	日本小説
珈琲怪談	恩田 陸	幻冬舎	日本小説
ふたり腐れ	櫛木 理宇	早川書房	日本小説
ニンジャ 公安外事・倉島警部補(8)	今野 敏	文藝春秋	日本小説
ザ・ネバーエンディング・ストーリー 東京バンドワゴン(20)	小路 幸也	集英社	日本小説
ゾンビがいた季節	須藤 古都離	講談社	日本小説
ありか	瀬尾 まいこ	水鈴社	日本小説
往来絵巻 貸本屋おせん(2)	高瀬 乃一	文藝春秋	日本小説
真実の幻影	堂場 瞬一	朝日新聞出版	日本小説
口出し屋お貫(かん)	中島 要	祥伝社	日本小説
最悪の相棒	伏尾 美紀	講談社	日本小説
団地メン！	藤野 千夜	角川春樹事務所	日本小説
あの子と O(オー) シリーズ(2)	万城目 学	新潮社	日本小説
君が眠りにつくまえに	水沢 秋生	新潮社	日本小説
それいけ！平安部	宮島 未奈	小学館	日本小説
桜風堂(おうふうどう)夢ものがたり(2)	村山 早紀	PHP研究所	日本小説
ミス・パーフェクトの憂鬱 ミス・パーフェクト(3)	横関 大	幻冬舎	日本小説
海風クラブ	呉 明益	KADOKAWA	外国小説
フェアリー・テイル(上・下)	スティーヴン・キング	文藝春秋	外国小説
森のユキヒョウ	C. C. ハリントン	岩波書店	外国小説
翻訳する私	ジュンパ・ラヒリ	新潮社	エッセイ
血統書	パトリック・モディアノ	国書刊行会	作家自伝

お願い

水にご注意！

本は水に弱く、一度濡れるとともに戻りません。お茶やコーヒーなどのシミはもちろん、雨の日
に外に持ち出す際にも
気を付けてください。



読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。いつでも参加、見学できます。

日時 6月14日（第2土曜日）
14時～15時30分

作品『モモ』

ミヒヤエル・エンデ 著

★次回の作品

『平家物語』『祇王』『那須与一』ほか

えほん・おはなしのじかん

4歳以上の子どもが対象です。

えほん 6月7日（第1土曜日）

21日（第3土曜日）

おはなし 14日（第2土曜日）

28日（第4土曜日）

10時30分からはじまります。

事前申込は不要です。

当日カウンターで受付をしてください。

★こんな絵本を読みます★

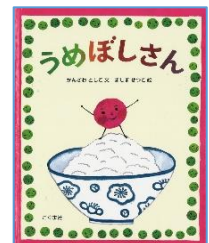


『ゆかいな かえる』

ジュリエット・ケペシュ ぶん・え
いしい ももこ やく
(福音館書店)

『うめぼしさん』

かんざわ としこ 文
ましま せつこ 絵
(こぐま社)



移動図書館ささゆり号運行予定



巡回場所	6月	7月	貸出時間
山崎町内	17日（火）	8日（火）	10時40分～14時
一宮町（学校・こども園）	6日（金）	4日（金）	9時25分～15時25分
一宮町内	21日（土）	19日（土）	10時00分～15時
波賀町（学校・幼稚園）	4日（水）	2日（水）	10時30分～16時
波賀町内	28日（土）	26日（土）	10時30分～15時30分
千種町内	18日（水）	16日（水）	11時00分～13時35分

本のリクエストも
受け付けています



巡回形式のため時間によって貸出場所が変わります。

場所・時間に変更になることがあります。詳しくはお問合せください。

しーたん通信でもお知らせしています。



図書館カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

× 休館：月曜日・祝日・年末年始

（月曜日と祝日が重なるときは、翌火曜日も休館）

△ 閉館：月末館内整理

（末日が日曜日や休館のときは、翌月初め）

開館時間：

9時30分～17時30分

（金曜日のみ18時30分まで）